

ベトサダ ニュース

NPO法人 自立支援事業所ベトサダ

〒001-0021 札幌市北区北21条西2丁目1-3

TEL:011-716-5130 ◆ FAX:011-708-7117

HP: http://www.npo-bethesda.com

mail: office@npo-bethesda.com

代表より

7月の終わりから、札幌も猛暑の日々が続いていきます。日中の30度超えはまあ夏らしくて良いのですが、夜になっても気温が下がらない熱帯夜には参ってしまいます。

ベトサダは24時間の対応をしているため私を始め数名の職員が、ベトサダの母屋部分に住んでいます。夕方仕事をひとまず終えて部屋に戻ると、室温が35度とかになっています。晩酌のビールもすぐに温くなるし寝付けなくて寝不足になるので、絶賛夏バテ中です。

「ご支援頂いている皆さま、熱中症等で体調を崩されたりしてはいないでしょうか？」

入社者の数名は、屋外での仕事に就いていますが、まだみな若いせいかわ、真っ黒に日焼けしながらも、ご飯をモリモリ食べて、元気が頑張っています。

たしか前号で事務局長が、自立して行った人からの、お礼のメールを紹介していたと思いますが、最近になってまた別の人から、有難くも寄附金と手紙が届きました。自立後のその彼は、友人たちとボランティアのサークルを作り、そこで集めた寄附金の一部をベトサダに送ってくれたという事で、まさにベトサダの基本理念である『助けられる人から助ける人へ』を実践してくれました。

夕食時に食堂で、いつもと変わらず笑いながら世間話をし、そしてその夜にいなくなってしまう。

何か困っていた事があつたなら、何故に相談してくれなかったのか、この人に相談してもどうにもならないと思われる存在だったのか。行方不明になる人は何人もいますが、毎回考えさせられてしまいます。



毎月、その月のデータを、札幌市と国(厚生労働省)に送ります。何人入って、何人就労して、何人自立して出て行ったかetc...

しかし私たちは、データのために仕事をしているわけではありません。そのデータの基となる『人』を相手にしています。数式化できない『人の心』を大切にすることを続けて行きたいと思っています。

今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。【山崎 貴志】

施設長より

会員の皆様並びに御支援頂いている皆様暑中見舞い申し上げます。

北海道も日差しが差す日が多くなり(この記事を書いている7/29現在)、気温も上がりやと夏が来たように思います。皆様、急激な気温の変化に対する体調管理にお気を付けて下さい。

いま国は、困窮者の多様な悩みに対応するべく、複数の悩みを抱える人が支援を受けやすいような体制づくりを急いでいます。厚生労働省によると、支援を必要とする人の60%は問題を2つ以上、34%は3つ以上抱えているそうです。

例えば、病気に苦しむ80代の親が、50代のひきこもりの子供と同居する『8050問題』や、現役の世代が親の介護と子育てをする『ダブルケア』などがそうです。

こういった現代社会における問題に、どんな問題にも『断らない』体制づくりが急務であるとして、ある自治体では、2015年度から全ての相談を断らず丸ごと対応する窓口を、生活保護課に設けているそうです。こうした取り組みは、私たちが

日々行っている『伴走型支援』に共通する事でもあります。

時間の経過と共に変化する困窮者の状況を、支援機関や関係機関が共有し、寄り添い続け、経済的な事から住まいの確保や就労まで、自立を目指す人に、欠かす事の出来ない支援をする事が重要と、常日頃考えているところです。

その一方で支援側の課題は、幅広い相談内容に対応できる人材の育成と確保であり、支援施設や専門機関の充実であると考えます。

国はこの事を合わせ、自治体への支援を是非検討して頂きたいと思っています。この『断らない相談支援』は、ある政党が主張してきたもので、今年の6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2019」(骨太の方針)に明記されています。

安心の福祉社会の構築に欠かす事の出来ない取り組みとして、私たちがこの事を後押ししたいと思っています。【二瓶】

事務局より

今年には北海道には長く真夏日が続きましたが体調はいかがですか?お変わりありませんか?

ベトサダを応援及びご支援頂いて下さる皆様にお詫びと報告が御座います。7月3日に札幌市役所市民生活推進課にて認定NPOの申請前の最終相談に行ってきました。認定NPOの要件のなかに認定基準適合表(組織運営及び経理基準)が有ります。(以下項目)

運営組織及び経理に関して次に掲げる基準に適合していること
イ 役員の数に次の者の数の占める割合がそれぞれ3分の1以下であること
(1) 役員及びその親族等
(2) 特定の法人の役員又は使用人である者及びこれらの者の親族等

各社員の表決権が平等であること
会計について公認会計士又は監査法人の監査を受けていること、又は帳簿書類の備付け、取引の記録及び帳簿書類の保存について青色申告法人に準じて行われていること

支出した金銭の用途が明らかでないものがある等の不適正な経理が行われていないこと
この要件の「イ 役員の数に次の者の数の占める割合がそれぞれ3分の1以下であること」の(2)の役員数が、「一般社団法人 札幌市一時生活支援協議会 ジョイン」の役員と、ベトサダの役員総数の内2分の1が被っている為、この要件のみを満たしていない事になり申請できません。

初歩的なミスで申請出来なかったこと本当に申し訳ございません。次回申請出来るのは最短で令和4年になります。今年度中に体制を整え再度申請したいと思っております。やるやるといって皆様に期待を持たせ、申請出来なくて本当に申し訳御座いません。

7月17日札幌学院大学の講座に代表が講演に行きました。後日受講していた大学院生の感想を聞きました。院生の感想は、「モチベーションをどのようにして保てるのかわからない。会社の利益の為に過酷な事が何故出来るのかわからない。自分だったら会社の為に自分を犠牲にする事は出来ないからそういう会社に入りたくない。」等ありました。当然の感想だと思えます。

会社の利益の為に云うか、収益事業を行っていない非営利団体なので利益は無いのですが、仕事として捉えていたら活動をしたいられないと思えます。今のスタッフが活動出来なくなる、又は、新しいスタッフを迎える時現状ではスタッフになる人がいないのではと思います。年々受け入れ人数も減少して行き、財政も圧迫されて来ている。いろいろ進化して行かなくてはならない時期なのかなと思えます。

これからは皆様のご支援の程宜しくお願い致します。【藤原】

毎日のように、熊出没のニュースが流れ、つい最近も知人が自転車で行行中に熊を目撃!年々高温になる気候といい、どこか自然界が壊れ進んでいることに、危惧を感じます。お天気がいいだけではなく、どこか息苦しい・生きにくい社会になっているような不安も感じます。
人の幸せを素直に喜べる・人の悲しみに胸を痛め何か行動できる、そんな人間になれるよう、私もベトサダで頑張りたいと思います。まずは、この暑さ!お盆までの辛抱だとは思いますが、扇風機を強にしたい気持ちを抑えつつ、折り紙をしています。なぜならば、強にすると、折り紙が吹っ飛んでしまうのです。それでも、少しだけみなさまにほっこりして頂けたら嬉しいです。【佐藤】

お願いします

下記の物が不足しています
ご協力よろしくお願ひします

- 敷布団
- 枕
- 枕カバー
- 食器用ふきん
- 生活用品
- 保存出来る食材 (調味料、乾物乾麺など)

【寄附者様】 アイウエオ順

6月1日〜6月末日
岡部欽一様/康企画 佐々木康二様/ケント・ハウス株式会社 藤本忠宏様/佐藤典子様/秀欧会 福祉サービス株式会社様/高野祥子様/中山美帆様/沼崎晃宏様/峰崎生子様/株式会社 モナミコーポレーション様他 匿名希望様、23名

7月1日〜7月末日
朝倉美紀子様/五十嵐敏文様/NPO法人あきた結いネット 坂下美涉様/岡部欽一様/秀欧会 福祉サービス株式会社様/中山美帆様/林宏美様/福住寺 長尾光洋様/他 匿名希望様、22名
更に、6月は15名、7月も8名の方よりご寄贈を頂きました。心よりお礼申し上げます。

みなさまの ご寄附は 自立を目指す方々の 生きる希望となります

◆ ご寄附 送金先 ◆
【ゆうちょ銀行】
口座番号 02720-1-45798
口座名義 特定非営利活動法人 自立支援事業所 ベトサダ

みなさまから託していただいたご寄附は、自立を目指す方々を支援するため、ベトサダの活動・運営のために使わせて頂きます